

課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業
フォローアップ結果（令和7年度）

プログラム名	学術知共創プログラム
課題	課題C：新たな人類社会を形成する価値の創造
研究テーマ名	ポストヒューマン社会のための想像学
研究代表者	大澤 博隆
所属機関・部局・職	慶應義塾大学・理工学部・准教授
フォローアップ所見	
1. 6つのグループが扱う「想像力」の内容は、各分野で大きく異なっており、複数のグループの成果をまとめあげ、高い水準の学問として形成するには、今後とも相当の努力が必要であるので、研究代表者として明示的なリーダーシップを発揮し、なお一層各グループが高い水準の学問的成果に繋がられるように注力することが求められる。	
2. 初年度から多くのイベントを遂行する計画になっており、いくつかについては実施されたが、イベント実施により、想像学の学問形成や国際的なネットワークの形成という成果にどのように繋がったのかが見えづらいので、改善が必要である。	
3. 教育心理学者や科学コミュニケーターなど、従来は周辺的で立場の不安定な環境に置かれた優秀な若手の育成に力を入れることが計画されていたので、単にプロジェクトにおける研究者の貢献範囲を広げるだけでなく、具体的な形での人材育成に努めてもらうことが期待される。	